



梅津 1学期末学校評価号

KYOTO UMEDU PUBLIC ELEMENTARY SCHOOL

令和4年9月29日
京都市立梅津小学校
校長 山根 茂樹

豊かな心

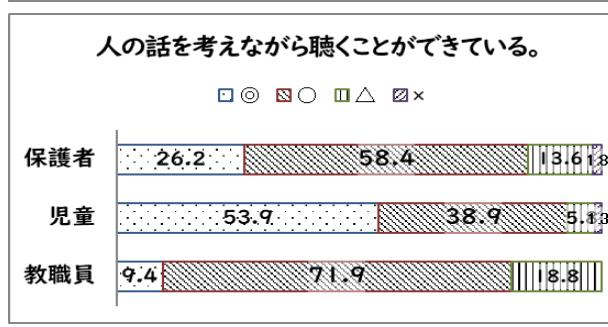
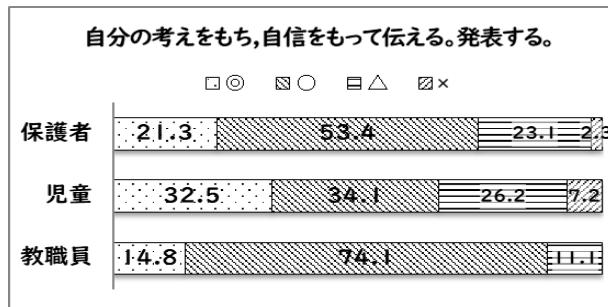
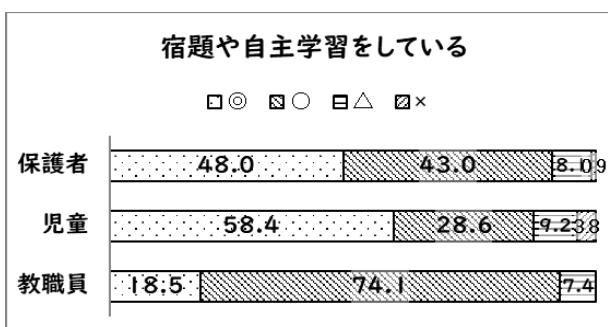
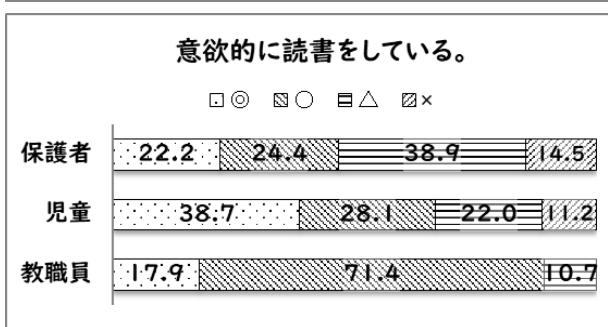
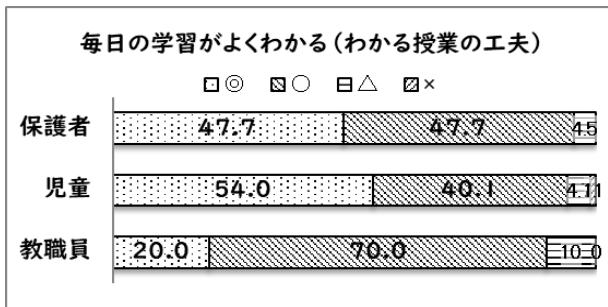
臨時号 学校評価アンケート(7月・1学期末)の結果より

7月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

学校教育目標・基礎学力定着・道徳教育など、梅津小学校教育を進める上で、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者・児童・教職員の3者の比較ができるようにしました。保護者の方・児童にはどれだけできているかの「実現度」を、教職員にはどれだけ指導をしているかについての「実現度」を尋ねました。

グラフについては、全て棒の左から○、△、×の評価で表しています。○・△が「そう思う・だいたいそう思う」、△・×が「あまりそう思わない・そう思わない」です。

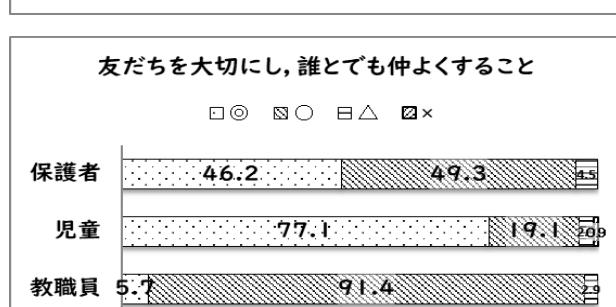
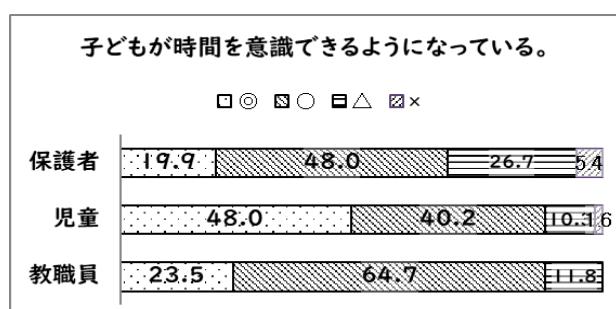
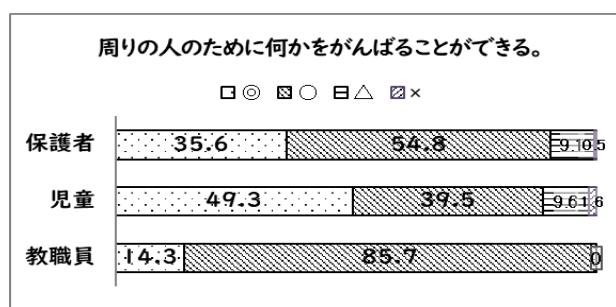
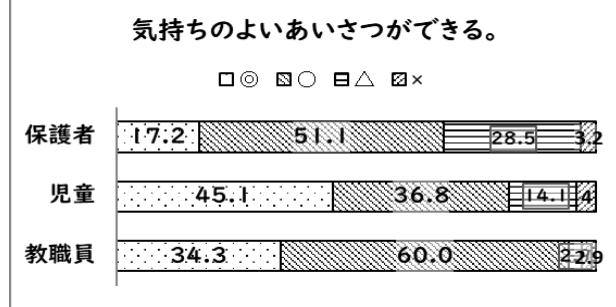
確かな学力



<考察>確かな学力

児童の「学習がよくわかる」や「聞く」は実現度が高く、しっかりと学びに向かっている様子が伺えます。

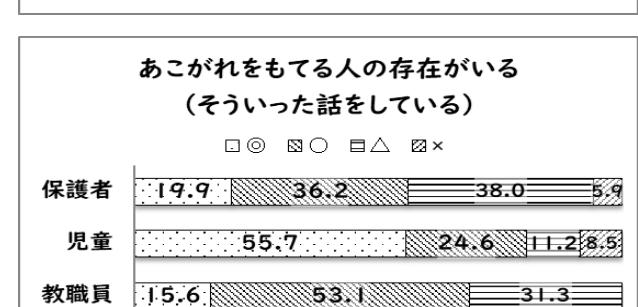
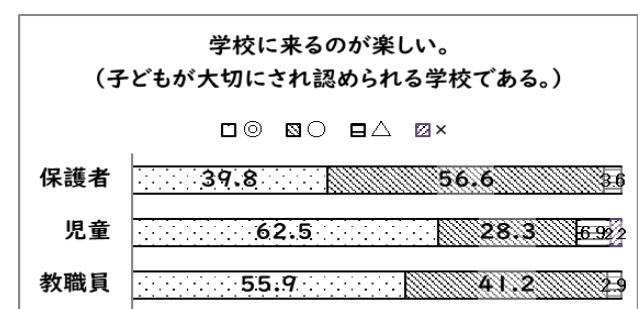
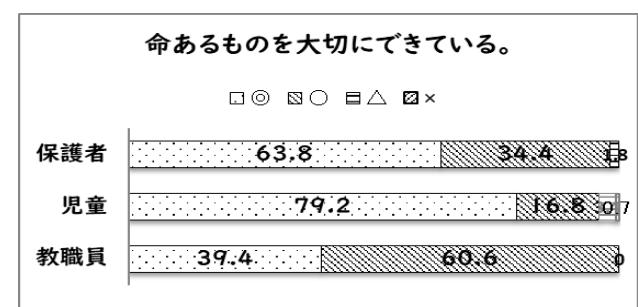
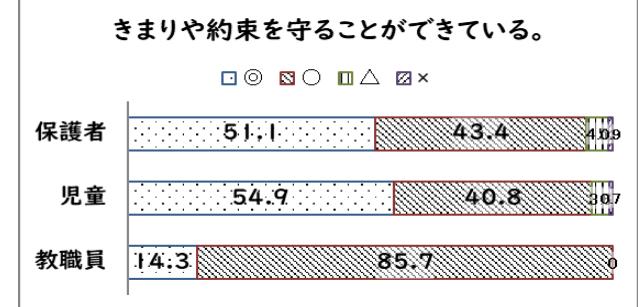
しかし、「自分の考えをもち、自信をもって伝える。発表する。」「意欲的に読書をしている。」は、○○が7割前後にとどまっています。梅津小学校では、子どもにつけたい資質・能力を「伝え合う力」とし、授業の中で目的に合わせて伝え合う活動に取り組んでいます。児童が友達に「伝えたい」、友達の考えを「聞きたい」と思えるような授業づくりと、朝読書の定着や図書館活用の充実を大切にして、取組を進めていきたいと考えています。



<考察>豊かな心

「あいさつ」の項目に関しては、児童の意識と保護者の方、教職員の感じ方に、やや開きがあります。高学年の計画委員による「あいさつ運動」などにより、あいさつの輪は広がってきていると感じます。特定の人のみならず、他者意識・相手意識をもって、進んでコミュニケーションをとる大切さを伝えていきたいと思います。

「きまりや約束を守る」の項目に関しては、保護者・児童の満足度は高いのですが、教職員の受け取り方はやや低いです。これはより規範意識を高めたいといった思いからです。学校・地域・社会それぞれで求められる規範意識の醸成に努めていきたいと思います。



健やかな体

基本的生活習慣が身についている。

(早寝早起き・朝食)

◎ ○ △ ×

保護者

38.5 50.7 10.05

児童朝食

85.0 8.741.8

児童早寝早起き

36.8 41.3 16.1 5.8

教職員

16.7 73.3 10.0

進んで体を動かしたりスポーツ活動に参加したりしている。(指導している。)

◎ ○ △ ×

保護者

44.8 36.7 17.2 1.4

児童

49.2 28.5 14.6 1.6

教職員

13.8 72.4 13.8

連携

<考察>健やかな体

基本的生活習慣について、「朝食をとる」項目に関しては、保護者・児童の数値とも9割近くとなりました。

早寝早起きに関しては、課題があります。生活実態調査では、スマホ・タブレット・ゲーム機の使用時間が長い様子が見られます。特に就寝前のスマホやゲーム機の使用は睡眠にもよくなく。朝起きられなからったり、日中學習に集中できなくなったりすることにつながります。

「早寝早起き」「朝食の摂取」「運動習慣」など、よい生活習慣をついている児童は学力も高いと考察されています。今後もよい生活習慣を大切にしていただければと思います。

子どもの成長や課題の共有

◎ ○ △ ×

保護者

34.1 59.1 6.8

児童

46.1 33.6 15.4 4.9

教職員

25.0 75.0 0

<考察>連携

今年度は、1学期中に2回の学級懇談会と個人懇談会を実施することができ、昨年度よりも担任と保護者が直接話す機会が増えました。引き続き、学年だよりやホームページで学校の様子も発信していきます。児童には、困ったことがあれば、担任の先生だけでなく、学年や学校の様々な教職員に相談ができることを伝えています。児童のよりよい成長のために、家庭・学校・地域の連携・協力を一層大切にしていきたいと思います。

～自由記述欄より～(⇒部分は学校側の見解です。)

□ 校庭で遊ぶ機会が増えて、男女ともに仲良く遊んでいると聞きました。これからもクラス全体で仲良くしていく、機会が増える事を望んでいます。どうぞよろしくお願ひします。

□ まだまだコロナの心配がある中で、出来る限り今までと同じように勉強や様々な活動を行って頂けること、感謝しています。ありがとうございます。

⇒学校への温かい励ましの言葉をたくさんいただきました。ありがとうございます。アンケート項目の中にある「学校に来るのが楽しい」項目は、9割の児童が◎○である反面、約1割の児童は△×となっています。コロナ禍において人との密なつながりが薄れそうな昨今、児童同士の温かいつながりを大切にしていくことが、児童の健全な成長において大切と考えます。まだまだ制限がある中ですが、工夫をして行事等にも取り組んでいきたいと思います。

□ 自分から挨拶できないとしても、大人から「おはよう」と声をかけても挨拶できない子が多いです。

□ 挨拶ができない子が多いのは気にはなっていましたが、ひょっとしたら大人ができないのかとも最近感じています。朝の登校旗当番で挨拶をしたり、危ない時の声かけをしたりすると、そんなん他の大人はあんまり言う人いないし恥ずかしいからやめてと子供に言われ…いやいや他にも声かけしている大人はいるはずです。でも少ないのも確かなのかなと。大人も意識して子供とかかわっていけるといいですね。

⇒校内では進んであいさつできる子が増えてきていますが、地域ではまだ課題が残ります。高学年があいさつの見本となり、あいさつ運動も行っています。よりよいあいさつができるように取組を進め、大人からも進んで声をかけ、お互いに気持ちのよいコミュニケーションを大切にしていきたいです。

□ 荷物を軽くしてほしいです。教科書を家で使わないときは全部学校に置いて帰りたいです。以前から話していますが、改善されていないと思います。荷物が重いと姿勢が悪くなったり、それだけで登校がおっくうになったりすると思います。

□ 集団登校の列がとても長くて車の妨げになっているときがあります。付き添いの旗持ちさんも、特に声をかけたり、止めたりもしないので危ないことがあります。2列になると、道も狭いので危険も多いです。

□ 給食エプロンについて入学当初から悩んでいます。「香害」について、認識を広げてほしいと感じています。持ち帰った給食エプロンを洗う際、柔軟剤の匂いに吐き気をもよおします。うちでは、柔軟剤の臭いがダメで、柔軟剤は、使いません。子供に聞いたところ、配食中、給食の匂いと混ざり、気持ち悪くなると言つてました。もし、可能であれば、梅津小学校でも「香害」により、化学物質過敏症を発症する恐れがあるという認識を広げてほしいと思いました。ご検討のほど、どうぞ、宜しくお願ひ致します。

⇒ 他にもたくさんのご意見を頂いております。気づいたことお伝えいただきありがとうございます。

今回、回答していただいたアンケートの結果から、「わかる授業の工夫」「規範意識」など、満足度が高い項目があれば、「自分の考えを伝えること」「考えながら聴くこと」「あいさつ」など、課題が残る項目もあります。

アンケート結果をもとに、よりよくできるところは、一つずつ改善しよりよい学校づくりにつなげて行きたいと思います。ご協力ありがとうございました。

～「学校運営協議会」より、評価結果についてのご意見をいただきました～

- ・学び教室で学校に伺いますが、いつも図書館の前の本紹介コーナーや図書館の中の様子が素敵です。この頃に興味のある本に出会うことが大事だと思います。
- ・「意欲的に読書をしている」が前回よりも少し下がっている。読書の大切さを児童に感じさせてほしい。
- ・「規範意識」は家庭や地域とのつながり等で自然と身についていけばよいのですが…。学校では、先生と短い時間でも個々に話し、子どもが自尊心や感謝の気持ちを見に付けられるようになるとよいです。
- ・児童はどんな人にあこがれているのか。具体的に掘り下げて聞いてみたいです。
- ・コロナ禍で大変な時でしたが、昨年より多くの懇談会を実施し、保護者とのコミュニケーションをとられることは大変よかったです。
- ・下校時に友だち同士でふざけ合い、物をふりまわしたり、道路を突然横断したりすることが時々見受けられ、危険だと思いました。安全指導をお願いします。
- ・スマホ、ゲームの使用時間が増えている中、やはり基本的な生活習慣は大切です。引き続き学校でも声かけをし、親を子も規則正しい生活習慣を見直す必要があります。